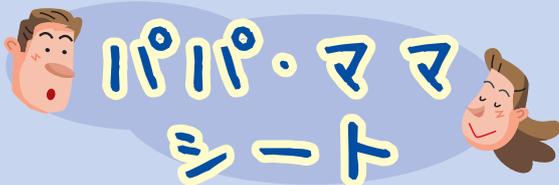


はーと・シップ

「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを
合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。

特集 講演会報告 21世紀の子育てはこれだ!



6月17日に開催した講演会「お父さんの子育て・家族の子育て」の
講師 小崎恭弘さんが考案された「パパ・ママシート」の一部をご紹介
します。子育て中のパパママはもちろん、子育て卒業のパパもパパ
予備軍のあなたも、チャレンジしてみてください。

育児についての質問に、自分がどれくらい知っているか、できているかを教えてください。

◎「ばっちり」 ○「だいじょうぶ」 △「ちょっと…」 ×「ダメ」

! お互いに評価するのも楽しいですよ。



あそび

- ・子どもの好きな遊びを知っている
- ・子どもが泣いたり、機嫌の悪いときに笑顔にできる
- ・子どもの好きな絵本、おもちゃを知っている



パパ	ママ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

食事

- ・子どもの好き嫌いを知っている
- ・子どものご飯をつくらることができる
- ・きちんとお箸をえる

パパ	ママ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

排泄

- ・うんちの対応ができる
- ・おしっこのサインがわかる
- ・紙パンツの値段を知っている

パパ	ママ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



清潔

- ・子どもと一緒に風呂に入る
- ・つめきり、耳掃除ができる
- ・子どもの服のサイズを知っている

パパ	ママ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>



最近よく耳にする ワーク・ライフ・バランスとは?

「ワーク・ライフ・バランス」とは、老若男女誰もが、仕事・家庭生活・
地域社会・個人の自己啓発など、様々な活動について、自らが希望するバラ
ンスで展開できる状態をいいます。(内閣府HPより)

新たに設置された専門調査会で、男女共同参画社会づくりの重要な
課題として取り組みが進められています。

今、個人の価値観や労働観がさまざまとなり、仕事以外でも満足感を
求める傾向が高まっています。

『充実した人生=仕事も生活も両立させる働き方や生き方ができること』
しかし、少子高齢化・人口減少など時代の変化の中、これまでの働き方や
生き方でよいのでしょうか。一人ひとりが意識を変えることはもちろん
ですが、職場や社会の環境整備も重要な課題ではないでしょうか。

ライブラリー紹介

「ワークライフバランス社会へー個人が主役の働き方ー」
大沢真知子 (岩波書店)

いまの日本にほんとうに必要なことは…現在の日本社会が
かかえる雇用の質や雇用形態
間の格差といった問題。
非正社員に依存した社会。
そういった中、どう解決すれば
いいのでしょうか。
本書には、具体的提案も書か
れています。



(図書コーナーは事務所奥のワークスペースにあります。
どうぞご利用ください。)

開催日：6月17日(日)

お父さんの子育て・家族の子育て 21世紀の子育てはこれだ!!



小崎 恭弘 (こざき やすひろ)
神戸常盤短期大学幼児教育科准教授
兵庫県西宮市立保育所第一号の男性保育士。
わが子3人の育児休暇をそれぞれに取得。現在は男性の育児や子育てなどをキーワードに講演を多数行い、積極的に発言や発信を行っている。
著書として『育児父さんの成長日誌』朝日新聞社『男性保育士物語』ミネルヴァ書房などがある。

父親が子どもとの関わりを深め、楽しく子育てができるようにと、神戸常盤短期大学幼准教授 小崎恭弘先生をお迎えし、「お父さんの子育て・家族の子育て」について積極的に考えたいとご講演をいただきました。

西宮市立保育所第1号保育士としての子どもたちとの関わり、我が子3人の育児休暇をそれぞれに取得された時の苦労話や体験談を交えながら、子どものかわいさや、子育ての楽しさを伝えていただきました。

きっと、子育て初体験のお父さんにとってはやってみたいと思える内容になったことと思います。

ただ、現状としてはまだまだ女性が子育てをすることが当たり前、男性が子育てをすることには違和感がある、といった思い込みがあり、これをいかに打破して子育てするのか、自治体、企業、個人を含め男女共同参画への一層の子育て支援の意識向上と実践が今以上に求められています。

お父さんの積極的な子育ては、本人のスキルアップはもとより、家族も含めて幸せになれるのですから。(運営委員Y)

参加者:62名 女性:39名、男性:23名

今回の講演会では若い年代層が半数を占めており、ご夫婦での参加も多く「お父さんの子育て」に関心を持たれていることがうかがえました。ご自身の経験を通しての講演に、参加者の方々からはうれしいご意見をいただきました。その中から一部をご紹介します。

- 母親として、父親としての子育て、生き方について、楽しく考えることができ良かった。「子どもはいかげんなもの」と言われていて、気持ちが楽になり、楽しく子育てしたいと思った。ありがとうございました。(20代・女性)
- 男性の育児経験が子どもにも家庭にも、よい影響を与えてくれました。男性として何かできることをいつも考え、また自分の子どもは生まれていませんが、妻とともに子育てをしていきたい。教員の仕事をしている私にとっても、子どもへの見方を変えるいい講演でした。(30代・男性)

軽快で愉快な講師の話術に、会場は笑い声に満ちた楽しい講演会となりました。今後も、皆様のご要望にお応えできる企画づくりを考えていきたいと思っております。ありがとうございました。

「誰にでもできる編集講座」のお知らせ

～あなたの“好き”を応援します!!～
文章を書くのが好きな方、イラストを描くのが好きな方、情報集めが好きな方、あなたの“好き”をカタチにしてみませんか？
編集に興味がある方、何か見つけたいあなたのための講座です。

日	程	内容
1	9月26日(水)	情報誌ってなあ～に？
2	10月3日(水)	情報を集めてみよう！
3	10月10日(水)	記事を書いてみよう！
4	10月17日(水)	で・き・た「自分」発信！

時 間：10:00～12:00
講 師：木原明美さん(とまとPRESS代表)
場 所：小野市うるおい交流館エクラ 中会議室
一時保育：あり(無料・要予約)
定 員：20名(性別・年齢不問)
参 加 費：無料 締 切 り：9月18日(水)

「はーと・シップ」編集員の募集!!

情報誌「はーと・シップ」を仲間と一緒に作りませんか？
むずかしく考えず“自分”を発信できるチャンスかも！
まずは気軽に、情報誌づくりの現場へ遊びに来てみてください。
ご応募お待ちしております。

活動期間：2年(再任可) 活動回数：年8回程度
活動費：交通費程度を支給 一時保育：あり(無料)

「はーと・シップ」は男女共同参画社会の実現や市民活動推進のための情報誌です。(年2回発行)
市内全戸配布及び、各コミセン・図書館などに置いています。

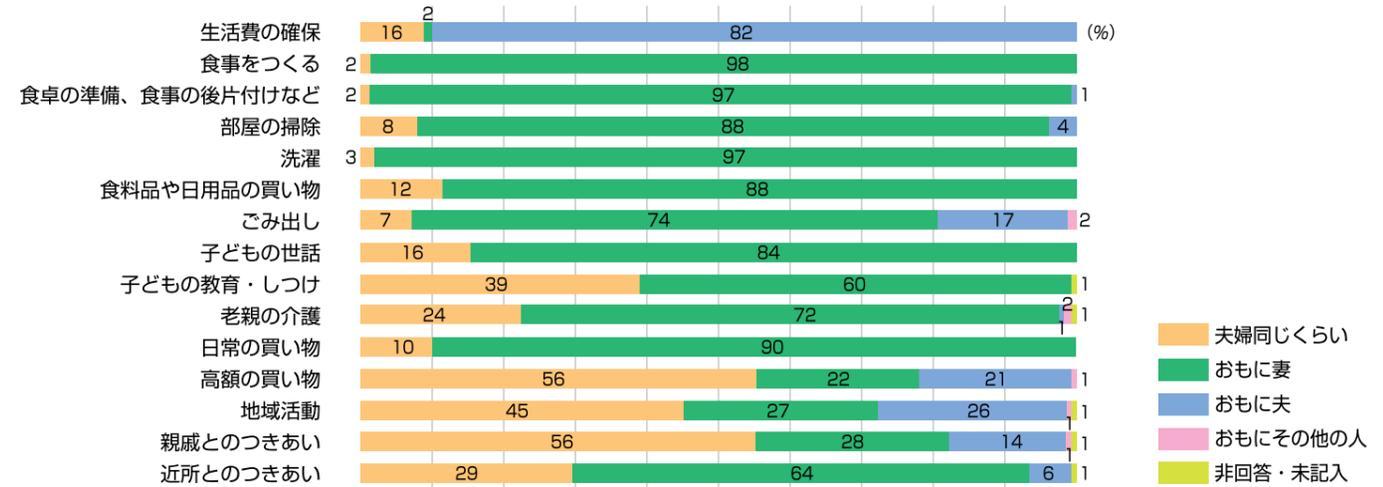
いずれもお申し込みは、小野市男女共同参画センター事務局まで。

小野市まちづくりモニター 男女共同参画に関するアンケート結果 vol.2

前号に引き続き、まちづくりモニターアンケート結果をご紹介します。今回は「家族の役割について」です。

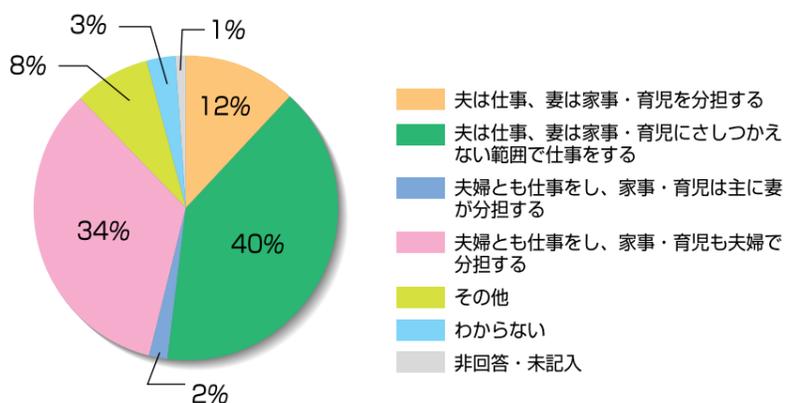
平成18年度まちづくりモニター 男女共同参画に関するアンケート 実施日：平成18年10月 回答者：90名

●あなたの家族では、次にあげるような日常的事業については、主に誰が分担をしていますか。



●夫婦の役割分担について、あなたはどうかあってほしいと思いますか。

配偶者のいらっしゃる方も理想としての考え方を教えてください。



その他の意見

- ・夫婦ともに仕事をし家事、育児関係なくできること得意なことを考えて分担しておこなう。
- ・子育ての時期はどちらかが専任し成人した段階で仕事に復帰をすることが良い。
- ・男女ともに労働時間の短縮をすること。また、短い労働時間を選んでも最低生活できる給与の保障をすること。
- ・両方が自分の役割に充実感を持ち、相手を尊重し、臨機応変に対応できるならば、形はどれでもいい。
- ・夫は仕事をし、妻と共に家事・育児を分担する。
- ・それぞれの夫婦で考え分担すればよい。

●一般に、男性が家庭の仕事をあまりしていないと言われていますが、それはどのような理由からだと考えますか。(複数選択可)

設 問	件数
1. 男性の職場や仕事が忙しく、時間がないから	64
2. 男性が自分のメンツ、世間体を気にするから	17
3. 男性が「男は家事をする必要がない」と考えているから	31
4. 家庭内の女性(妻、母など)がメンツ、世間体を気にするから	14
5. その他	10
6. わからない	2

その他の意見

- ・男と女の役割分担だから。
- ・男性は家庭の仕事が苦手だから。
- ・やり慣れてないので気が付かない。
- ・地域性もある。

2回にわたりご紹介してきましたが、いかがでしたでしょうか。その他に「ドメスティック・バイオレンス(DV)について」「小野市男女共同参画センターについて」などもお聞きしていますが、ご紹介したアンケート結果を含めホームページに掲載しています。(URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/>)
どうぞご覧ください。ご意見等もお待ちしております。ご回答いただいた皆様、貴重なご意見をありがとうございました。

ハートフル パートナー

“子育てには祖父母の協力も大きな力”
今回は天神町に3世代同居されている、
水口さんご家族をお訪ねしました。



水口さよ子さん 水口勝さん 奈美さん
雄斗くん(1歳)

Heartful Partner VOL. 11

Q 同居されたきっかけは？

勝 : 2年間2人で住んでいましたが、妻の妊娠をきっかけに僕の実家に帰ることにしました。

さよ子 : ごく自然に。私も仕事を持っていますので一緒に住もうか。と言う感じです。

Q 出産後・育児をするにあたり、同居で良かった事は？

奈美 : 凄く助かりました!! 育児にイライラしている時など、気分転換しておいでと、子どもを見ていてくれたり、私からお願いするのではなく何気なく声をかけてもらって。困った時は色々教えてもらえます。きっと夫婦だけなら、ちょっとした事でも慌てたり、心配したりと大変だったと想像します。それに夫も助けてくれるんですよ!

Q どんな事を？

奈美 : お風呂はもちろん、夜泣きで私が寝不足のときは雄斗を連れて散歩へ連れて出てくれたり料理を作ってくれたり色々協力してくれます。

Q 他のお母さん達との交流の中で、そんなお話も出ますか？

奈美 : チャイコムで出会ったり、電話やメールで話します。友人の中には、夫の仕事が忙しく帰りも遅いので、育児を一人で頑張っていると聞き、私は恵まれているな~と思いました。

勝 : 仕事の関係で昼間はいますので、一緒に子育てに関わっていきたいです。

Q 今の子育て環境について、感じておられる事を聞かせて頂けますか？

奈美 : 小野市は子育てしやすいと思います。医療費の無料化や、児童手当の支給など家計には助かります。図書館は我が家の本棚みたい。

勝 : 強いて言えば、いろんな情報をもっと詳しく知りたいですね。

Q これからの子育てについては、どうですか？

さよ子 : 私達の頃は、近所も含めて大きい子が小さい子の面倒を見ていたけど、今は又違うからね。

勝 : いじめや、犯罪の低年齢化など世間を取り巻く不安材料が沢山あるので、正直どんなふうにも子育てをしていけば良いのか心配な面もあります。でも健康で大きくなってくれたらいいね、と2人で思っています。

お互いを尊敬しています!!と声をそろえておっしゃるステキなご夫婦。週末は孫と一緒に風呂に入るのを楽しみにされている奈美さんのご実家。まさに“みんなで子育て”。年内の第2子誕生も待ち遠しそうですね。

川柳

席題「男・女の本音」

~ご応募ありがとうございました~

定年後 歩幅合わせは どっちかな 小野市 中村すみ子さん
誉められて 伝票そっと 引きよせる 多可郡 笹原 弘さん

エクラ ハートフルサロン内にも、
投信箱を設置!

ハガキ・ファックス・メールでも受け付けています。掲載された方には小野市うるおい交流館エクラ・喫茶コーナーのモーニングチケットをプレゼント。ご応募は事務局まで。

無料相談窓口案内

市外の相談窓口もご利用頂けます。

実施機関	種類	所在地	電話番号	実施日時
小野市男女共同 参画センター	女性のための さまざまな相談	小野市中島町72	電話相談 (随時) 0794-63-8250	木曜日 9:30~11:30
		小野市うるおい交流館 エクラ内	面接相談 (予約制) //	木曜日 13:00~16:00
小野市民病院	女性のための 医療専門相談	小野市中町323	面接相談 (予約制) 0794-63-2020 内線188	木曜日 13:00~16:00
小野市 ヒューマンライフグループ	いじめ相談	小野市役所内	電話相談 (随時) 0794-62-4110	月曜日~金曜日 8:30~19:00
三木市男女共同 参画センター	女性のための 相談	三木市上の丸町8-30 勤労青少年ホーム内	電話相談 (随時) 0794-89-2354	木曜日13:00~16:00 土曜日10:00~12:00
			面接相談 (予約制) 0794-89-2331	木曜日10:00~12:00 土曜日13:00~16:00
北播磨県民局	女性問題相談	加東市社字西柿 1075-2	電話(随時) 面接 (予約制) 0795-42-5111 内線604	金曜日 9:00~17:00
兵庫県立男女 共同参画センター	男性問題相談 不妊専門相談	神戸市中央区 東川崎町1-1-3	電話相談 (随時) 078-360-8553	第3火曜日 17:00~20:00
			電話相談 (随時) 078-360-1388	第1・3・4土曜日 10:00~16:00
*これ以外にも様々な相談をお受けしています。078-360-8550へお問い合わせください。				
兵庫県立女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)	電話相談	—	電話相談 (随時) 078-732-7700	毎日 9:00~21:00

相談室から

完璧なお母さんでなくてもいいですよ

「子どもがおとなしすぎて困る。」「友達の子の中に入れてくれない。」「私に原因があるのでしょうか。」「子どもさんに関する問題についてお母さんからご相談をいただくことがあります。お母さんの心の葛藤や、周辺との人間関係での不安、傷つきなど切実な訴えが、きこえてくる場合も少なくありません。完璧な子育てがないように、完璧なお母さんも存在しません。お母さんがいきいきと自分らしく子どもとの関係を楽しむことが、子どもたちの安心や自信に大切ではないでしょうか。もし、子育てのことで悩まれているなら、女性のための相談室で気持ちの整理をされませんか。無料で託児もおこなっています。気軽にお声をかけてください。

本誌に対するみなさまの率直なご意見や感想をお聞かせください。ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

■ 企画・編集 はと・シップ編集委員会

高坂純子、東一文化、中尾和栄、鳴美千恵子
藤井隆雄、藤岡昭臣、前田民樹、横山茂宏

■ 事務局

小野市男女共同参画センター (NPO法人 北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ
TEL 0794-63-8156 FAX 0794-62-2400
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail: danjo@ksks-arche.jp

■ 発行 小野市